

あしただ

令和7年4月15日発行

現在会員数 243名

男性 128名

女性 115名

(R7. 3. 31現在)

題字：雨宮博雄

編集・発行 公益社団法人八丈町シルバー人材センター

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2

TEL. 04996-2-4666 FAX. 04996-2-5355

E-mail hachijo@sjc.ne.jp

URL. <https://www.sjc.ne.jp/hachijo/>

退任のご挨拶

奥山 拓



この度、3月末日をもちまして、八丈町シルバー人材センターの事務局長を退任いたしました。

在職中は、会員の皆様の温かいご指導や職員の方々に支えられながら、4年間務められたことに深く感謝申し上げます。

今後も会員としての活動は続けていきますので宜しくお願い申し上げます。

会員、役職員の皆様におかれましては『健康と安全は全てに優先する』を徹底していただき、ご活躍されることを御祈念いたしまして退任の挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

佐藤 真一



私は、平成6年からこの3月まで、八丈町役場の職員として勤務してまいりましたが、この度、奥山拓事務局長の後任として、4月1日付でシルバー人材センター会員の皆様の仲間入りをさせていただくことになりました。

共働共助の精神の下、会員の皆様の豊富な経験・社会体験が活かされ自主的、創意的な活動が十分に発揮できることを目標に、楽しく生きがいを持って仕事に励み、引いては八丈町の地域振興に繋がるよう努めてまいりたいと存じます。微力ながら尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

令和6年度安全就業パトロール 報告

安全管理委員による安全就業パトロールを3回実施しました。

7月30日(火)

やすらぎの湯(中之郷)・公共施設周り(大賀郷)

田代委員・青木委員・喜田主任

11月 7日(木)

みはらしの湯(末吉)・植物公園(大賀郷)

小宮山副委員長・佐々木委員・奥山事務局長・喜田主任

3月13日(木)

ふれあいの湯(檜立)・学校畑(大賀郷)

西濱委員・宮部委員・大沢委員・喜田主任

今後も安全就業にご協力よろしくお願いいたします。



— 八丈町SC安全就業標語 —

仲間の輪 ルールとマナー 大切に
無理しない 自問自答の 体調管理

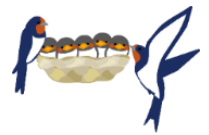
理事会開催報告 3月25日(火)午前10時から八丈町役場第一会議室において「第10回理事会」が開催されました。主な議題は次の通りです。

1 承認事項

- 1) 会員の入退会について
4月1日入会3名と退会5名について承認
- 2) 令和6年度補正予算書(案)について
- 3) 令和7年度当初予算書(案)について
- 4) 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて
2)～4)まで、原案通りすべて承認
- 5) 諸規程の一部改正について
定款
理事会運営規則
育児・介護休業等に関する規程
職員就業規則
準職員就業規則
原案通りすべて承認

2 報告事項

- 1) 令和7年2月の事業実績について
公共は増額、民間は微増、外作業は天候不順の影響もあったが受注分は完了したことを報告
- 2) 令和7年度役員研修について
研修予定等について説明
- 3) 第2回会長会議報告
会長より報告
- 4) 広報委員会について
第3回広報委員会について報告
- 5) 安全管理委員会について
第4回安全管理委員会について報告



3 その他

- 1) 令和6年度年間行事予定について

令和7年度シルバー人材センター安全就業標語選考結果

公益財団法人東京しごと財団が募集しました、安全就業標語の入賞作品が決定しましたのでご紹介します。



優秀作品に八丈町から2作品選考されました！



テーマ 「事故防止のための体力づくり」

最優秀 足腰を 無理なく鍛えて 事故防止 (町田市SC)

優 秀 身を守る 体力づくり 日頃から (八丈町SC青木保憲さん)
ささやかな その運動が 事故防止 (中央区SC)
安全は 心と体の 元気から (杉並区SC)
先ず歩こう 体力維持の 第一歩 (日の出町SC)

テーマ 「センターごとに設定したテーマ」

最優秀 安全は 基本動作と ゆとりから (青梅市SC)

優 秀 安全は 一人ひとりが 責任者 (八丈町SC小宮山進さん)
無理をせず 止まる勇気が 身を守る (江東区SC)
イライラは あなた自身の 赤信号 (杉並区SC)
見たつもり、実は見てない、再確認 (檜原村SC)

三根小学校の誕生(前編)

ー 韮山県令江川氏の助言ー

今から150年前の明治5年(1872)9月、政府は新しい学校制度の基本となる「学制」と「学事奨励に関する仰出され書」を發布し、「人が職業を通して生活を安定させ生涯を全うするには、行いを正し、知識を広げ、能力を伸ばすことが肝心で、そのためには学問する以外に道はない」と学びの必要を説いたのです。この法令に従って日本全国に公立小学校がつくられますが、八丈島ではこれより早く学校設立の動きが始まっていたのです。本土から遠く離れたこの島で、なぜそのようなことができたのでしょうか。

『学制』發布の前年、まだ寒い季節でした。八丈島の地役人長戸路収蔵は江戸からの帰途、県令江川英武に呼ばれ韮山に立ち寄ったところ、「御一新の大赦で八丈島も流罪が廃止され、人々が文字を読めなくては困るだろうから、学校を開設せよ」という指示を受けました。維新前には200人以上いた流人たちのほとんどが赦免されて島を出たので、それまで流人に頼っていた役所の書役や読み書きの師匠がいなくて困っていたところでしたから、長戸路収蔵は島に戻ると、「昼間は農業の妨げになるので……」と夕方から始まる「夕学塾」を末吉村に開設することとし、末吉村預りの流人で旧幕臣の平川親義に校則と教育課程の立案を頼みました。

同年11月、廃藩置県により伊豆諸島は足柄県の管轄となりましたが、同月28日村の戸長長戸路をはじめ村役人立ち会いのもと、末吉村に夜学が創立されました。教室となった沖山岡右衛門宅には机や灯火が運び込まれ、80人が入学しました。教育内容はいわゆる「読み書き十露盤」で、『論語』『孟子』など儒学の教科書や「往来物」と呼ばれる寺子屋の教材が中心でした。

三根村でも、末吉村に遅れまいと、翌5年(1872)1月12日、34歳の戸長高橋鉄之助と村役人高橋郡之助(18歳)を中心に末吉の夕学塾にもかかわっていた近藤富蔵(68歳)も加わり、神道・儒学・政治・兵法・仏教の五正を学ぶ夕学「五正庠」の計画が動き出しました。

2月4日、三根村の学校は「川ノ平夕学所」として発足することが宣言されました。村方会所から村民に示された方針を現代風に読み替えると、「今度、村に学問所を建て、村中の百姓で志ある者は勉強するよう申渡したのは、今般、御一新に

つき流人たちの島方へのお預けも終わったので、島民は文字の読み書きができない者が多く、島外との自由な手紙の遣り取りや、誂え物の注文書を出し、向こうからの送り状などを読む人もなく、困ることが多いだろう。朝はいつもより早く起きて農業を稼ぎ、暮れ方は早く家に戻り、各々無駄話や夜遊びに時間をつぶすのをやめて、その暇に学問・手習い・十露盤を練習するべし。そうするうちに行儀まで覚えると、大きな徳になるだろう。毎月6回、学問所が休みの時には、怠けず縄のない草履を作り、昼間の農業の助けとすべし。そうすれば生業のための時間を減らすことなく、大きな利益を得るだろう。1ヵ年の費用は、師匠方へ謝礼として米を島升で2升(1.8ツル杓で7升)と、年間を通して夜ごと消費する灯油6盃、点し木1〜2駄ほどは必要である。以上、熟慮のうえ納得したら組頭へ申し出て、入門者の名前を書いて組頭より追々村方会所へ願い出るように」というものでした。

2月12日中道に教員18人、生徒37人で五正庠が開学しました。学則で、毎夕酉の刻(午後6時頃)に始業、毎月1と6日を休業日とし、教室への入口や座席も指定されました。「故有って」教室を桜平に移転しましたが、意見が合わずすぐに解散となりました。父兄の負担とされた「費用」も重くのしかかったことでしょう。

明治6年(1873)になって、八丈5ヵ村の学区取締に就任した服部弘道が足柄県権令(副知事)柏木忠俊の通達を持ち帰りました。そこには、「今や文明の域に達したので、学習内容は日常生活に役立ち、自主の理・自由の意識を養成するものだから、身分・性別を問わず、日夜勉強に励み、知識・技能を伸ばし人生を豊かにするもので、だれもが学ばなければならない。」と、改めて学校教育の重要性を強調するものでした。これを受けて、副戸長浅沼喜蔵が自宅の蚕室を教室とし、高橋与一・菅原蔵人・北島米吉・小池冬松・浅沼伝蔵らが教員となり生徒約20人で再出発したのでしたが…。

つづく

伊藤 宏



写真…創設之地

令和6年度事業実績							
月	区分	受託件数	就業延日人員	契 約 金 額			
				配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
3月	公共	44	1,885	11,953,904	508,555	1,267,947	13,730,406
	民間	30	172	938,031	23,591	89,787	1,051,409
	計	74	2,057	12,891,935	532,146	1,357,734	14,781,815
累計	公共	510	19,533	116,441,981	5,730,618	10,834,701	133,007,300
	民間	255	1,731	8,900,125	319,585	865,570	10,085,280
	計	765	21,264	125,342,106	6,050,203	11,700,271	143,092,580

3月末会員数 243名 就業実人員 150名 就業率 61.7%

令和6年度派遣事業実績					
	受託件数	就業延日人員	契 約 金 額		
			賃 金	手 数 料 等	計
当年度累計	2	542	1,925,629	517,548	2,443,177

会員入退会状況

(3月分) 入会者 なし

退会者 お疲れ様でした

男性 3名 女性 3名

(4月1日分)

入会者 よろしく願います

男性 1名 女性 2名

＊就業相談のお知らせ＊ (要予約)

日時 5月15日(木)午後3～5時

場所 八丈町役場第2会議室

申込 お電話ください ☎ 2-4666

上記の日時の場合は予約が必要ですが、何かありましたら随時事務局までご連絡ください。

職員紹介



4月より臨時職員として採用されました。

よろしくお願いいたします。 高橋美由紀

事務局より **来月の配分金支払日は、5月15日(木)です。**

システムの都合により11時以降の振込になります。

ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。

事務局長
職 員

さとう しんいち
佐藤 真一

(統括)

ふくだ ひろこ
福田 洋子

(経理・庶務)

こむろ としや
小室 寿哉

(事業・統計)

きだ ひでひこ
喜田 秀彦

(事業・安全)

いしい ゆうみ
石井 裕美

(事務)

たかはし みゆき
高橋 美由紀

(事務)

臨時職員